

## 令和7年3月定例会の概要

令和7年3月定例会は、2月19日から3月7日の日程で行われました。今回の志翔会だよりでは、令和7年度当初予算の概要について、大河原裕勝議員、薄井長広議員、伊藤典夫議員、加藤漢太議員、塩田義智議員の5名の志翔会所属議員の市政一般質問概要を中心に報告致します。

## 令和7年度当初予算の概要

令和7年度当初予算は、原則、義務的経費、継続的事業及び市民生活に密着した事業を中心としながらも、時代の潮流を見極め、次の100年に向け「今、必要不可欠な予算」を計上しています。

	対前年度比
一般会計	1,406億5,000万円 (0.6%減)
特別会計	1,032億1,984万4千円 (1.3%減)
合計	2438億6,984万4千円 (0.9%減)



本定例会の期間中、若者の投票率向上を目的とするNPO法人ドットジェイピーのインターンの大学生2名の受入れをしました。定例会の本会議や常任委員会の傍聴や議員の日頃の活動の同行を通じて、地方自治や地方議会について理解を深めることができましたかと思えます。

### 志翔会2025年度活動方針

#### 「市民のために結果を出す」

- 1 物価高から市民の暮らしを守るため「郡山生活安心サポート給付金」の実現をめざします。
- 2 八潮市の道路陥没事故を受け、当局と連携し道路・橋梁・上下水道などインフラの強靱化を進めます。
- 3 郡山駅西口ロータリー渋滞解消、旧豊田貯水池利活用、「楽都郡山」にふさわしい音楽堂整備など次の100年に向けて積極的に取り組みます。

## 議員紹介

- ・氏名
- ・地区
- ・会派役職
- ・期数
- ・連絡先
- ・市議会役職

**伊藤 典夫**  
1期 湖南町  
☎090-4880-7761  
会計(政務活動費) 議会運営・文教福祉

**佐藤 政喜**  
5期 大槻町  
☎951-2316  
市議会議員 郡山地方広域消防組合議長

**大河原裕勝**  
1期 喜久田町  
☎953-5617  
広報 建設水道・広聴広報

**本田 豊栄**  
1期 西田町  
☎090-6253-8473  
会計(会派会計) 建設水道 郡山市都市計画審議会委員

**加藤 漢太**  
1期 久留米  
☎090-2027-4131  
広報 文教福祉・広聴広報

**久野 三男**  
5期 方八町  
☎943-3200  
副会長 議会運営・総務財政 郡山市都市計画審議会委員

**塩田 義智**  
5期 三穂田町  
☎945-2015  
顧問(前議長) 環境経済 郡山地方広域消防組合議員

**薄井 長広**  
1期 安積町  
☎090-2791-7000  
広報 環境経済 郡山地方広域消防組合議員

**森合 秀行**  
3期 安積町  
☎953-7885  
幹事長 議会運営(委員長)・総務財政 郡山地方広域消防組合議員

**大城 宏之**  
6期 安積町  
☎945-6566  
相談役 市監査委員 建設水道

**近内 利男**  
5期 緑ヶ丘  
☎942-7967  
会長 議会運営 文教福祉(委員長) 郡山地方広域消防組合議員

# 3月定例会市政一般質問

## 要旨

### ■議会中継の映像の視聴について

これまで一般質問に登壇した各議員の氏名の下に掲載したQRコードをスマホ等から読み取って映像をご覧頂いていましたが、本年4月1日から新たに開設された「郡山市議会YouTubeページ」からご覧いただくようになります。つきましては、下記に掲載された議会中継から各議員の一般質問をご覧頂きますようお願い致します。



議会中継QRコード

### DXの推進について

大河原裕勝

**問** 郡山市として、整備を推進する国と連携し、インフラシェアリング<sup>※</sup>や5GSA<sup>※</sup>活用促進の面で、コーディネーターの役割を果たし、5GSAの整備を主導すべきと考えるが、見解は。

**答** 先端通信環境の早期実現を国や通信事業者に求めていくとともに、タイパ<sup>※</sup>・コスパの観点から積極的な導入に努め、「誰もがデジタルの恩恵を受けるこおりやまの実



川俣町にある通信用電波塔

現」を図る。

- ※インフラシェアリング、5GSA、タイパとは
- ・インフラシェアリング…携帯電話のネットワーク設備の一部を複数の携帯電話事業者間で共用する形態のこと。
  - ・5GSA…5G専用の基地局とコアネットワーク設備で構成された通信サービス。医療分野では、遠隔医療やロボット手術支援などへの活用が期待されている。
  - ・タイパ…タイパとは「タイムパフォーマンス」の略で、費やした時間に対する効果や成果、満足度を指す。

### 下水道管の保全について

大河原裕勝

**問** 埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえ、下水道管の損傷を早期に発見するために、点検周期を見直す必要があるのではないか。

**答** 2025（令和7年）年度において、汚水のコンクリート管633kmを対象に、AIを用いた劣化予測診断を実施することとしており当該事業に係る予算2千万円を本定例会に提出した。



本市で行っている下水道の点検

### 日本遺産を活用した観光振興について

薄井 長広

**問** 日本遺産ストーリーの知名度向上を図ることが、本市の観光振興にも寄与すると考えるが、今後どのような取り組みをしていくのか。

**答** 日本遺産構成文化財や主要観光スポット飲食店等をゲーム感覚で巡るラリーイベントを2022年度から実施しており、これまでに延べ4,800名を超える方に参加していただいている。今後も、民間事業者と連携した事業の実施や、本市独自の日本遺産コンテンツを含む教育旅行の本格展開に加え、JICA外国人研修員による日本遺産関連施設の視察研修を通じたインバウンドの拡大など、日本遺産ストーリーを積極的に活かした施策を通じて、知名度向上を図りながら国内外の観光誘客を推進していく。



構成文化財の一つ開成山公園の五十鈴湖

### 安積永盛駅のバリアフリー化について

薄井 長広

**問** 安積永盛駅のバリアフリー化に向けたJR東日本との協議の状況及び本市の今後の考え方は。

**答** JR東日本から、安積永盛駅整備の必要性は承知しており、市管理の東西自由通路（歩道橋）のバリアフリー化と合わせ、JR東日本が管理する駅舎等の一体的な整備検討を一緒に進める旨の方向性が示されたところである。今後、すべての人が安心して円滑に移動できるよう、利便性や安全性に配慮しながら、引き続き早期着手に向けてJR東日本と積極的に協議を進めていく。

## 写真で見る志翔会

1月21日～23日  
会派行政調査

沖縄県浦添市にある浦添大公園と宮古島市にある資源リサイクルセンターを視察しました。浦添大公園では、地域の歴史と文化をベースにした公園の複合的な活用について調査しました。また、宮古島市にある資源リサイクルセンターでは、家畜糞尿、生ゴミ、剪定枝等を堆肥化して農地に還元し、地力の向上を図り農産物の品質向上などを目的に整備された施設で、こちらでは、サーキュラーエコノミーについて調査しました。



2月13日

東電廃炉資料館・  
福島第一原子力発電所視察

東京電力福島第一原発の廃炉作業や処理水の海洋放出の状況など原子力政策に対する理解を深めるために東京電力廃炉資料館（富岡町）・東京電力福島第一原発（双葉町・大熊町）を視察しました。



3月10日

郡山歴史情報博物館内覧会

3月15日にオープンした郡山歴史情報博物館の内覧会に参加しました。郡山の歴史について、本市がこれまで集めた収蔵品や最新のデジタル技術などを活用して、時代別やテーマ別など様々な角度から、子どもから高齢者まで幅広い世代が興味を持ち学べる施設でした。





安積永盛駅

### 湖南七浜利活用について

伊藤 典夫

**問** 自然あふれる観光資源である猪苗代湖を、「湖南七浜利活用計画策定事業」では、地域資源を活かした保全と利用の好循環により、湖南七浜での質の高い滞在環境を整備するとしているが、具体的にはどのように整備を想定しているのか、見解は。

**答** キャンプ場と駐車場の有料化を含め、湖南七浜をより楽しく利用してもらい、地域住民が過ごしやすい環境を整備する為、素案では「キャンプ・にぎわい・景観」の三つのエリアに区分し、エリア内に地元産品などを扱う飲食販売や、ユニバーサルデザインに配慮したトイレ機能を備える管理棟の建設も新設する方針である。令和7年度から試験運用を始め、本格運用は3年後の令和10年を目途とする。



湖南七浜

### 松くい虫対策の実績と次年度以降の対策について

伊藤 典夫

**問** 本年度実施した、湖南町の舟津・館・横沢地区の伐木を含めた、松くい虫に関する事業成果と次年度以降の松くい虫対策事業について、見解は。

**答** 舟津・館・横沢の各財産区が所有する17haは法令に基づく「保全すべき松林」に位置づけされており、7月から10月までの期間で、委託費149万6千円で被害調査を実施し、10ha、182本の被害量を確認し、11月下旬より舟津・館地区において委託費601万7千円で6ha、74本、被害量の約4割を伐倒・燻蒸による駆除を実施し2月7日に完了した。来年度は、委託費1,822万2千円を上程しており、未駆除の館地区4ha、108本の伐倒・燻蒸及び横沢地区7haにおいて調査、伐倒、駆除を実施予定である。今後も被害拡

大防止に努めていく。



湖南町の松林

### 保育士へのカスハラについて

加藤 漢太

**問** 保育士へのカスハラについて、今後の対策は。

**答** 新年度から、保育士・保育所支援センターで、専門家を講師に迎えた研修をするほか、Webセミナーの実施を予定している。また、保育現場でのカスタマーハラスメントの防止に向けては、保護者の理解が必要となることから、事業者や現場の保育士の意見を踏まえ、カスタマーハラスメントに関する理解が広がり、保護者と保育士の良好な関係の構築につながるよう、ポスターやリーフレット等を作成するなど、広く啓発にも取り組んでいく。



保育現場

### 今後の乳幼児期のむし歯対策について

加藤 漢太

**問** 今後の乳幼児期のむし歯対策は。

**答** 郡山歯科医師会や保育施設等と連携・協力しながら、様々な機会を捉え、生活習慣や口腔ケアを整える重要性のさらなる普及・啓発に努めるとともに、特に、かかりつけ歯科医による定期的な歯科健診の普及にも取り組みながら、本市の子どもたちの歯と口の健康を推進していく。



郡山歯科医師会のシンボルマークのバッジ

### 米の高騰対策について

塩田 義智

**問** 米の需要と供給のバランスが崩れ、米不足による米価の高騰が続いている。消費者である国民の感情は、物価高騰による影響もあり穏やかではない状況であると考えられる。しかし、米の生産者としては、生産コストへの適正な価格転嫁等を見据え、冷静沈着に状況を見守っている。そこで、昨今の米の価格高騰に対する当局の認識及び見解は。

**答** 「小売物価統計調査」(総務省)によると、昨年1月時点で2,078円であった本市のコシヒカリ5kg当たりの小売価格は、本年1月の価格は3,755円(前年同月比80.7%増)となっている。農林水産省は、2月14日に、集荷段階での不足分に相当する21万トンの備蓄米放出を発表した。本市としては、極端な米の高値は生産者のみならず、商業者、消費者にも影響が及ぶことから、今後も米の流通や米価の動向を注視し、国等からの情報を確認し、速やかに市民の皆様の判断材料として提供していく。



あさか舞コシヒカリ

### 三穂田公民館の三穂田ふれあいセンターへの移設について

塩田 義智

**問** 公共施設等総合管理計画にうたう施設複合化の一例として、開所から36年が経過し、調理室や和室がある一方で、駐車場が狭い三穂田公民館を広い駐車場など利便性の高い立地にある三穂田ふれあいセンターに移設すべきと考えるが、見解は。

**答** 2025年度改訂予定の「郡山市公共施設等総合管理計画」及び「同個別計画」に基づき、原則、建築年数が古い施設から順に、説明会開催により地域の実情を伺うなど、各施設の方針の決定に取り組んでいく予定である。三穂田公民館を三穂田ふれあいセンターに移設する複合化についても、公民館全体の優先順位の中で、検討に着手していく。



三穂田公民館集会室

# 令和7年度当初予算の主な内容

## I 産業・仕事の未来 48億3,401万円

- 農商工(福)の融合によるイノベーションの創出 3,549万円  
農商工(福)融合によるシナジー効果を生み、販路拡大の機会を創出します。

## II 交流・観光の未来 11億8,674万円

- 県内企業に就職する東京圏の学生を支援 8,063万円  
大学等卒業後に県内企業に就職する学生を支援するため、既存の支援事業を拡充し、東京圏の大学生等が就職に伴い、本市内に居住する際の移転費用を補助します。
- 郡山市名誉市民西田敏行展の開催 990万円  
元フロンティア大使の故・西田敏行氏が名誉市民となられたことから、写真や映像の展示等を通して、同氏の軌跡・活動を振り返る企画展を開催します。

### 1 概要

時期 2025(令和7)年9月予定  
会場 市内公共施設など  
内容(予定)  
①写真・映像等によるパネル展示  
②衣装等の展示  
③出演映画等の上映会等



### 2 企画・運営

箭内道彦氏に企画展の運営・協力を依頼  
・フロンティア大使  
・「采女ドンドコ」での連携等、西田氏と古くから親交がある

・共感性の高い企画展開催ができる  
・箭内氏のアイデア等を通じて、西田氏の魅力をより引き出す展示とする

### 3 スケジュール

企画展	令和7年度									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
企画展	契約締結	会場・レイアウト・実施内容の確定、展示品の収集等						開催		

## III 学び育む子どもたちの未来 64億7,943万円

- 学校施設の長寿命化と気候変動対策の推進 21億8,931万円  
学校施設の老朽化対策を進めるとともに、児童生徒の生命を守り、気候変動による自然災害に強い学校づくりを実現するため、小中学校の長寿命化改修を実施します。

## IV 誰もが地域で輝く未来 50億3,478万円

- 带状疱疹ワクチンの定期接種開始 1億6,733万円  
現在、高齢者を対象に実施している「定期予防接種(インフルエンザ、新型コロナウイルス、肺炎球菌)」に、新たに「带状疱疹ワクチン接種」を追加します。

### 接種開始時期

○2025(令和7)年4月1日

### 対象者(予防接種法施行令第3条に基づく)

- 65歳の方
- 60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方
- 65歳を超える方については、5年間の経過措置として、5歳年齢毎(70、75、80、85、90、95、100歳)の位置付け  
※100歳以上の方については、定期接種開始年度に限り全員対象とする。  
※定期予防接種の対象となるのは対象年齢時の1度限り

令和7年度対象者：約20,200人

### 接種方法

- 接種希望者が、ワクチン接種実施医療機関に直接予約のうえ、接種を実施  
⇒詳細は、広報こおりやまやFacebook・LINE等で周知

### 自己負担額

- 生ワクチン：4,000円(1回)
- 組換え(不活化)ワクチン：24,000円(※12,000円×2回)  
※生活保護・中国残留邦人の方は自己負担なし

### 助成を受けられるワクチン

○対象年齢時に以下のいずれかのワクチンを選択

	生ワクチン	組換え(不活化)ワクチン
接種回数	1回	2回(2か月間隔)
自己負担額	4,000円	12,000円×2回
接種種別	皮下注射	筋肉注射
発病予防効果(目安)	接種後1年 62.0% 接種後5年 43.1%	接種後1年 97.7% 接種後10年 73.2%

・带状疱疹ワクチンの交互接種は認められません。

出典：「第65回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会資料(2024/12/18)」から作成

## V 暮らしやすいまちの未来 168億1,643万円

- 市街地における円滑な交通の確保 4億8,630万円  
安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与するため環状道路の整備を推進します。

### 東部幹線(富久山工区) 4億6,233万円

- 事業延長 185m(幅員27m)
- 事業内容 こ線橋工事等
- 事業進捗 84%(令和7年度末見込み・事業費ベース)

《整備状況》  
磐城西線郡山・郡山富田間東部幹線こ線橋新設工事(2024年11月末)



完成イメージ



令和8年度供用開始予定(郡山インター線まで)

### 内環状線(横塚工区) 2,397万円

- 事業延長 1,160m(幅員27m)
- 事業内容 用地(32.46㎡)・補償(電柱移設)道路改良(延長65m)等
- 事業進捗 84%(令和7年度末見込み・事業費ベース)

《整備状況》  
・四中通り～美術館通り  
・令和7年度は延長500mのうち65mを整備



美術館通りから南側をのぞむ

(美術館通り)

### 《供用済工区》

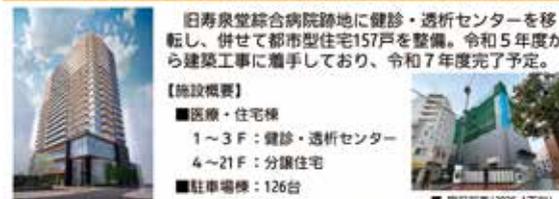
- ・県道小野郡山線～四中通り
- ・延長660m(2019年12月18日供用開始)
- ・市道横塚五丁目一丁目線(四中通り)から南側をのぞむ



(県道小野郡山線方面)

- 健康未来都市に向けた都市開発を推進 24億5,340万円  
都市施設(医療施設)と一体的な再開発事業を行う民間業者を支援します。

### 市街地再開発整備事業 郡山駅前一丁目第二地区(旧寿泉堂総合病院)



旧寿泉堂総合病院跡地に健診・透析センターを移転し、併せて都市型住宅157戸を整備。令和5年度から建築工事に着手しており、令和7年度完了予定。

【施設概要】

- 医療・住宅棟  
1～3F：健診・透析センター  
4～21F：分譲住宅
- 駐車場：126台

年度	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
実施設計					
工事監理					
建物補償					
除却整地					
建物建築					
外構整備					

## 編集後記

2022年2月、ロシアのウクライナ侵攻以降、スーパーの商品棚に陳列された食品の値段をみるたびに「また上がったか…」とため息。ついに主食である米まで。市民の皆さまの生活を応援できるよう「市民のために 結果を出す」ように全力でまい進して参ります。(森合 秀行)